

|        |         |    |    |
|--------|---------|----|----|
| 教科・種目名 | 外国語(英語) | 種類 | 7種 |
|--------|---------|----|----|

| 採択基準                           | 基本観点                           | 発行者名(2 東書)  | 発行者名(9 開隆堂)  | 発行者名(11 学図)   | 発行者名(15 三省堂)  |
|--------------------------------|--------------------------------|---|--|---|---|
|                                |                                | 教科書の記号・番号 英語 501・601  | 教科書の記号・番号 英語 503・603   | 教科書の記号・番号 英語 504・604  | 教科書の記号・番号 英語 505・605  |
| 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。 | (1) 全体としての特徴や創意工夫              | 各学年のテーマのもと、全体を3つの大単元と8つのUnitで構成している。各Unitの冒頭ではOur Goalとして目標を提示している。各Unitは、「音に出会う」「会話に慣れる」「コミュニケーションを楽しむ」「世界を広げる」の一連の流れで展開し、大単元末には、Check Your Stepsとして各Unitでの学習をまとめる言語活動を設定している。別冊としてPicture Dictionaryが付属し、2年間を通して学習で活用できるよう工夫している。 | 9～11のLessonと2つのProjectで構成している。各Lessonは、冒頭で学習のテーマを示し、Let's ListenやLet's Playなどで基礎的・基本的な語や表現を繰り返し学び、Let's Tryでまとめを行う流れで構成している。年間2回のProjectでは、それまでに学んだことを活用したプロジェクト型の活動を設定している。 | 10のLessonと2つのProject Timeで構成している。各Lessonは、最初具体的な目標と学習の進め方を示し、歌、Scene、Let's Listen、Let's Chant、Small Talk等のステップで展開している。Lesson末のUse & Checkで学習をまとめる活動を行うとともに、年間2回のProject Timeで学んだことを活用する学習を設定している。 | 各学年ともに3つの大単元を配置し、それぞれHOP、STEP、JUNPの過程で段階的に展開することにより、5領域の学習を効果的に深めることができるよう工夫している。HOPで学習の見通しや目標をもたせ、STEPでは複数のLessonにより基礎的・基本的な知識や技能等を学んだ後、JUNPで学んだことを活用するプロジェクト型の言語活動や振り返りを設定している。また、各Lessonでの学習をパターン化して、取り組みやすい工夫をしている。 |
| 2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。     | (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮  | 各Unitでは、多くのチャンツやsmall talk、豊富なコミュニケーション活動等を通して、繰り返し楽しみながら4技能が身に付くよう工夫している。「学び方みつけた!」、SRORY TIME、Sounds and Letters等の様々なページを設け、音声や文字、英語の表現にさらに慣れ親しめるよう工夫している。別冊のPicture Dictionaryでは、2学年分の基本的な語や表現、Can Doリストを掲載し、基礎習得に配慮している。        | 各Lessonの冒頭にゴールの見通しをもたせるページを配置するとともに、様々な活動を通して語や表現を繰り返し身に付けるよう工夫している。文字を書く学習を多く取り入れている。巻頭にCan Doマップを示し、1年間で身に付ける力について見通しがもてるように工夫している。巻末に基本的な語をアルファベット別に掲載している。               | 各学年の巻頭にPre-lessonを配置し、3・4年生の外国語活動や5年生の学習を復習できるよう工夫している。音声によるインプットを重視するとともに、2時間の授業のまとまりの中に4技能の学習をバランスよく設けている。Word Cornerのページや各単元末のAlphabet Corner、巻末のWord Listなどで、基本的な音や文字を繰り返し学ぶことができるよう工夫している。   | 各Lessonでは、多くのチャンツやsmall talk、コミュニケーション活動、読んだり書いたりする活動等で繰り返し4技能を扱い、段階的に無理なく習熟できるよう工夫している。文字に一度慣れ親しむことができるページを年間を通して配置するとともに、巻末にはCan Doリストを掲載している。基本的な語や表現を、巻末にWords & Phrasesとして絵とともにカテゴリー別に掲載している。                      |
|                                | (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮    | 各UnitのYour Turnにおいて、Unitのテーマについて考えたり話したりする活動を設定し、児童が必然性や目的意識をもって思考を働かせる工夫をしている。大単元末のCheck Your Stepsでは、複数の単元の話題や表現を組み合わせ、テーマに沿った言語活動ができるようにしている。「スピーチに挑戦」など、学んだことを生かした発表やコミュニケーション活動が充実している。  | 身近なテーマを設定することにより、児童が思考を働かせて自分自身のことを友達とやり取りできるよう工夫している。それにより、学んだ語や表現を実際のコミュニケーションで無理なく活用できるようにしている。単元末のLet's Tryでも、身に付けた知識や技能を活用できる工夫をしている。                                   | 相手意識・場面意識をもたせた言語活動を設定し、実際に英語で発表する等のアクティビティを通して表現を身に付けることができるよう工夫している。児童に身近なテーマについて、Show & Tell形式で発表を行い、友達との交流を通して創意工夫して英語を使えるよう工夫している。  | 実生活の中から活動のテーマとゴールを設定することで目的意識や相手意識をもたせるとともに、自分で調べたり考えたりしたことを構成して英語で表現する活動を取り入れて、思考力・判断力・表現力等を高めることができるよう工夫している。また、できなかったことについては、修正して再チャレンジする機会を設けている。巻頭では、classroom Englishや日常的な会話の工夫を示し、学習で活用できるようにしている。               |
|                                | (3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 | 教科書の使い方・学び方のページを設けている。各UnitのEnjoy CommunicationやCheck Your Stepsにおいて、学んだ語・表現を使ったやりとりや発表等の言語活動をゴールとすることにより、児童が主体的に学習に取り組んだり、ペア・グループ活動で深めたりすることができるように工夫している。音声や歌を聞いたり、活動を映像で見たりするなどの多様な活用ができるQRコードを配置している。                           | 各Lessonでは児童に身近なテーマを設定し、Let's PlayやLet's Tryなどで、ペアやグループによる主体的な活動ができるよう工夫している。また、振り返りのコーナーで自己評価項目を示し、4段階で評価できるようにしている。巻末にLessonごとの「学んだことリスト」が付属し、学習を振り返りながら復習に活用できるよう工夫している。   | 教科書の使い方・学び方のページを設けている。年2回のProject Timeでは、学級全体に発表する前にペアでウォーミングアップを行い内容を深めるなど、対話的な学習になるよう工夫している。各Lessonで示した目標を単元末のCheck Timeで振り返り、児童が4段階で自己評価できるように工夫している。  | 教科書の使い方・学び方のページを設けている。大単元末のJUNPでは、プロジェクト型の学習を取り入れ、学んだ語・表現を使ったやりとりや発表の活動を設定している。目的・状況等の理解、準備、コミュニケーションの一連の学習手順を丁寧に示すことにより、主体的・対話的な活動が充実するよう工夫している。また、児童が自らの目標やゴールを設定できるようにするとともに、まとめとふりかえりの欄を設けて自己評価できるように工夫している。        |
|                                | (4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い        | Story TimeやEnglish Songs、「学び方みつけた!④」(6年教科書)で中学校での英語学習に触れるなど、発展的な内容を扱っている。「発展」と明示している。   | 「中学校へつなげよう」(6年教科書)において、中学校で学習する文構造等に触れるなど、発展的な内容を扱っている。「発展学習」と明示している。  | 各Lessonで扱った設定されたSongs for Lessonsにおいて、小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれる歌を扱っている。「発展」と明示している。   | 英語の歌が扱われており、小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれている。「発展」と明示している。  |
|                                | (5) 他の教科等との関連                  | 各UnitのOver the Horizon等において、国語・社会・家庭・道徳・総合的な学習の時間など、他教科等で学習した内容と関連付けた内容を設定している。また、言語や文化、産業等を知る学習を通して一層深い国際理解に結び付けよう配慮している。  | 各Lessonでは、国語・社会・音楽・家庭など、他教科等で学習した内容と関連付けた内容を設定している。  | 各Lessonでは、国語・音楽・図画工作など、他教科等で学習した内容と関連付けた内容を設定している。  | 国語・社会・音楽・道徳・総合的な学習の時間など、他教科等で学習した内容と関連付けた内容を設定している。各種コラムにより、各国の言葉や文化等に触れることを通じて国際理解を一層深めることができるよう配慮している。  |
| 3 使用上の便宜が工夫されていること。            | (1) 表記・表現の工夫                   | 写真やイラストなどが豊富にあり、場面がわかりやすく、児童の学習意欲を高める工夫をしている。書体などユニバーサルデザインに配慮している。また、第2線と第3線の間幅を広く設定した4線を使用し、文字の書きやすさに配慮している。巻末に絵カードやコミュニケーションカードを掲載し、切り取って学習で活用できるよう工夫している。   | 写真やイラスト、キャラクターの設定などで、場面がわかりやすく、児童の学習意欲を高める工夫をしている。配色などユニバーサルデザインに配慮している。また、第2線と第3線の間幅をやや広めに設定した4線を使用し、文字の書きやすさに配慮している。巻末に絵カードをカテゴリーごとに掲載し、切り取って学習で活用できるよう工夫している。             | 写真やイラスト、キャラクターの設定などで、場面がわかりやすく、児童の学習意欲を高める工夫をしている。配色などユニバーサルデザインに配慮している。また、第2線と第3線の間幅をやや広めに設定した4線を使用し、文字の書きやすさに配慮している。  | 豊富なイラストから意味を推測できたり、メインキャラクターを設定して親しみが持てたりするよう工夫している。配色などユニバーサルデザインに配慮している。また、第2線と第3線の間幅を広く設定した4線を使用し、文字の書きやすさに配慮している。巻末に、アルファベット表やカード等を掲載し、切り取って学習で使用できるよう工夫している。   |

教科用図書調査研究報告書(道徳を除く)

|        |         |    |    |
|--------|---------|----|----|
| 教科・種目名 | 外国語(英語) | 種類 | 7種 |
|--------|---------|----|----|

(2)枚中(2)枚

| 採択基準                           | 基本観点                           | 発行者名(17 教出)   | 発行者名(38 光村)  | 発行者名(61 啓林館)   | 発行者名(番号・略称) |
|--------------------------------|--------------------------------|---|--|--|-------------|
|                                |                                | 教科書の記号・番号 英語 506・606  | 教科書の記号・番号 英語 507・607   | 教科書の記号・番号 英語 508・608   | 教科書の記号・番号   |
| 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。 | (1) 全体としての特徴や創意工夫              | 9つの Lesson で構成している。<br>各 Lesson は、Let's Watch で目標や概要を捉える活動から入り、主に Let's Listen、Activity、Let's Read and Write、Final Activity、Sounds and Letters、Review という流れにより、基礎的な活動から学んだことを活用した活動へと段階的に向かう構成となっている。<br>移行期間で使用していた「We Can!」に近い構成・内容となるよう配慮している。 | 9つの Unit は、Hop!、Step1、Step2、Jump! の順で構成されている。Hop! で各学習過程での目標や学習内容を把握し、Step1、Step2 で表現に慣れ、Jump! で学習をまとめる活動に取り組む段階的に構成されている。また、展開部の Step1、Step2 では表現を分けて提示しており、ゴールに向かって学習が徐々に進むよう工夫している。   | 8つの Unit と3つの REVIEW で構成している。<br>各 Unit は、冒頭で学習テーマとゴールを把握し、Part1～3で語や表現を学んだ後、Looking Back で学習を振り返る流れとなっている。展開部の Part1・2では Listen and Do、Jingle、Chant、Say and Write の活動で表現に慣れ、Part3ではまとめとして発表活動を行うよう工夫している。<br>学期末には REVIEW を通じ、まとめの問題や活動を掲載している。 |             |
| 2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。     | (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮  | 巻頭に Let's Start Together を配置し、3・4年生での外国語活動や5年生での学習との接続に配慮している。<br>各 Lesson では、豊富なインプットで聞いたり話したりする活動を積み重ねてから文字に関する学習や発信活動へとつなげる流れになっており、4技能が段階的に無理なく身に付くよう工夫している。<br>巻末の My Word Bank で、基本的な語をカテゴリー別に絵カードで掲載し、学習で活用できるようにしている。                     | 各 Unit の Step1、Step2 では、Let's watch、Let's listen、Let's chant、Let's play、Let's try、Let's write の順に学習を構成している。聞く活動やチャッツから、話す・書く活動へと進み、4技能が無理なく身に付くよう工夫している。<br>巻頭に Can Do リストを掲載するとともに、文字に徐々に慣れ親しむことができるよう特設ページを配置している。<br>巻末にカテゴリー別の絵辞典を掲載し、学習で活用できるようにしている。 | 各 Unit では、チャッツや small talk、コミュニケーション活動等を通して、繰り返し楽しみながら4技能が身に付くよう工夫している。<br>自分で考えたことを英語の文章として自由に書く学習を多く取り入れている。<br>巻末に Can Do リストを示すとともに、Word List で基本的な語をカテゴリー別に掲載し、活用できるようにしている。  |             |
|                                | (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮    | 思考力・判断力・表現力等を身に付けるための具体的な言語活動となるよう、各 Lesson 末で児童の興味・関心や経験等を発信できるように工夫している。<br>「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で達成度を自己評価できるように工夫している。<br>Let's Think のコーナーを設け、言語や文化、コミュニケーション等に係る気付きや思考を促す工夫をしている。   | 学習した語や表現を言語活動の中で使い、児童がお互いの考えや気持ちを伝え合い、予想してから質問するなど、機械的な練習ではなく、考える活動になるように配慮している。<br>振り返りは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で具体的な気付きを促す内容となっている。   | Listen & Guess 等の学習では、語や表現の意味・使い方を、場面の状況から推測するよう工夫している。<br>学期末の REVIEW では、既習の表現を場面や状況を変えて使用できるかを問う問題に挑戦したり、コミュニケーション活動をしたりしながら、思考力・判断力・表現力等を一層高められるよう工夫している。   |             |
|                                | (3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 | 巻頭に1年間の目標を提示するとともに、各児童が英語でできるようになりたいことを設定する欄を設けている。<br>各 Lesson では、冒頭に目標を提示するとともに、単元末に振り返りのコーナーを設けて児童の主体的な活動に配慮している。<br>Let's Activity では、ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を設定している。   | 教科書の使い方のページを設けている。<br>各 Unit の Let's try や You can do it! にグループで話し合ったり伝え合ったりする活動を取り入れ、協働的な学習になるよう工夫している。<br>Unit の冒頭にゴールを設定するとともに、単元末に振り返りのコーナーを設けて主体的な活動に配慮している。<br>Unit の各過程に QR コードを配置し、音声を確認したり映像などで学習を把握したりできるように工夫している。                              | 教科書の使い方のページを設けている。<br>Activity において、児童相互のやりとりや発表の機会を多く設定し、主体的な学習になるよう工夫している。<br>各 Unit における学習の振り返りでは、学んだ表現をどんな場面で活用したいかを書く欄を設け、主体的に取り組む態度を引き出すよう工夫している。  |             |
|                                | (4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い        | 和英辞典の使い方を掲示している。また、巻末の Let's Enjoy the Music において英語の歌が扱われており、小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれている。「発展」と明示している。   | 英語の歌が扱われており、小学校学習指導要領で示された以外の文構造が含まれている。「発展」と明示している。   | 学習指導要領に示していない内容の取扱いは明示されていない。  |             |
|                                | (5) 他の教科等との関連                  | 各 Lesson では、国語・社会・音楽・家庭・道徳など、他教科等で学習したことと関連付けた内容を設定している。  | 各 Unit の活動や Fun Time では、国語・社会・理科・図画工作・体育など、他教科等で学んだことを生かせる活動を設定している。<br>World Tour コーナーや「世界の友達」ページで、各国の児童等を知る学習を通して異文化への理解が深まるよう配慮している。  | 各 Unit や REVIEW では、国語・算数・理科・社会など、他教科等で学習したことと関連付けた内容を設定している。   |             |
| 3 使用上の便宜が工夫されていること。            | (1) 表記・表現の工夫                   | イラストなどが豊富にあり、場面がわかりやすく、児童の学習意欲を高める工夫をしている。<br>書体などユニバーサルデザインに配慮している。また、第2線と第3線の間の幅をやや広めに設定した4線を使用し、文字の書きやすさに配慮している。<br>巻末にシールやカード、各 Lesson に対応したワークシートを掲載し、切り取って学習で活用できるように工夫している。  | 写真やイラストが豊富にあり、場面がわかりやすく、児童の学習意欲を高める工夫をしている。また、キャラクターを設定して、学習にストーリー性を持たせている。<br>書体などユニバーサルデザインに配慮している。また、第2線と第3線の間の幅を広く設定した4線を使用し、文字の書きやすさに配慮している。<br>巻末に、シールや切り取って活用できるカード、水性ペンで書いて消せるページなど多様に掲載している。  | イラストが豊富にあり、場面がわかりやすく、児童の学習意欲を高める工夫をしている。<br>書体などユニバーサルデザインに配慮している。また、第2線と第3線の間の幅をやや広めに設定した4線を使用し、文字の書きやすさに配慮している。<br>巻末に絵カードを掲載し、切り取って学習で活用できるように工夫している。   |             |